

History and Culture

Visual Communication

KENJI Ishii · PROFESSOR / INSTITUTE OF SOCIO-ARTS AND SCIENCES

2 units 前期 木 3・4

(平成 19 年度以前の授業科目:『歴史と文化』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目:『芸術』)

Target) 視覚表現の原点を探り, 視覚, 聴覚, 臭覚, 触覚, 味覚等の五感の持つ意味を考える. なお社会 (あるいは学問体系) における同授業を受ける意義とかその必要性, あるいは, 同授業の社会における立ち位置等について, 私自身が考えていることを書いておきたい. 現代社会は外国文化との接触・交流の密度が増し, 広い意味での異文化理解についての深い勉強を大学生活の中で積極的に行うことが, どのような分野を専攻しようとしている学生にとっても, 極めて大切である. この授業は, そのような意味においても大変有益であり, 又, 多様なビジュアルコミュニケーションを最初にしたような趣旨で学生時代に学ぶことは, どのような研究分野を目指している学生にとっても, 直接的にも間接的にもプラスに働くことが多いのではないかと思っている.

Outline) 人間の持つ五感を通じたビジュアルコミュニケーションについて講義する.

Keyword) 五感による表現, 視覚伝達

Fundamental Lecture) “History and Culture/Arts and technology”(1.0)

Relational Lecture) “History and Culture/Painting: Expression and Basic Technique”(0.5)

Goal)

1. 五感による表現について認識を深める.
2. 視覚表現の原点を探る.

Schedule)

1. 視覚表現の可能性について検討する.
2. 受講生による発表を中心に授業を進める.
3. 視覚のビジュアル表現
4. 視覚のビジュアル表現 (グループで検討)
5. 聴覚のビジュアル表現
6. 聴覚のビジュアル表現 (グループで検討)
7. 臭覚のビジュアル表現
8. 臭覚のビジュアル表現 (グループで検討)
9. 触覚のビジュアル表現
10. 触覚のビジュアル表現 (グループで検討)

11. 味覚のビジュアル表現

12. 味覚のビジュアル表現 (グループで検討)

13. 銀塩による画像伝達について

14. 非銀塩による画像伝達について

15. レポート提出の締め切り

16. 総括授業

Textbook) 講義の中でテーマ毎に紹介する.

Reference) 講義の中で配布する.

Evaluation Criteria) 授業への取り組み状況, レポート及び出席状況などにより総合的に評価する.

Re-evaluation) 行わない.

Message) 講義は総合科学部マルチメディア A 棟 1 階芸術講義室にて行う. 2011 年度は, 木曜日の前期 3・4 講時に開講する. 教養科目の単位となります. 30 人で締め切る. 視覚伝達に興味関心のある意欲的な学生を望む.

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220723>

Contact (Office-Hour, Room, E-mail)

⇒ Ishii (203, +81-88-656-7165, ishii@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 木曜昼休み)